南アフリカを旅して

札幌市　星野フサ

私は、1999年8月4日に成田を出発して南アフリカのヨハネスバーグを経由してダーバンに出かけ、約2週間後の18日に帰札しました。第XV回国際第四期連合(INQUA)に参加するためでした。はじめての南半球への旅でした。

これまで、ユーラシア大陸のほぼ中央で札幌とほぼ同緯度のウルムチから天山山脈北側の植生の見学をしたのが8年前のことで、4年前にはユーラシア大陸の西端に近い、札幌とほぼ同緯度のベルリン周辺の植生を見学しました。今年はダーバンでこの国際会議が開催されました。知人の助けによってこの国際会議に参加し、そして無事帰ってくることができました。

南アフリカの気象は、雨が少なく温暖ということで札幌とはかなり違っています(表1)。

アフリカ大陸のほぼ中央には赤道があってその南端には南アフリカがあります。そのため、気候が温暖になると南アフリカの砂漠地帯は降雨帯に変わり、気候が寒冷になると乾燥してくるとのことです(Peter Beaumont and David Morris, 1999)。

私の今回の旅行は準備も十分ではなく、また、不勉強でもありますが、南アフリカのダーバン周辺の亜熱帯の植生とB7巡検で見学したカラハリ砂漠周辺の自然の一部をここに紹介し、地球規模の環境変動に興味のある方々に少しでも情報の提供ができるなら幸いです。さらに、カラーの写真を提供できないのは残念ですが、サバンナの風土の一端を垣間見ていただければと思います。

図1　第15回国際第四紀連合の会場(ICC)入り口の様子(ダーバン市)。

図2　ダーバン市内には、ヤシ科の植物が多く見られる(手前の男性は金沢大学の大村先生)。

図3　ダーバン市の郊外にみられたゴンドワナ大陸の存在を示す古生代後期の石炭紀(約3億年前)の堆積物。

図4　図3の近接写真(含まれている白い粒は孤立していて分級作用を受

表1　気象の比較

地　点	緯　度	年平均気温(統計期間)	年平均降水量(統計期間)
キンバレー	28°48′S	18.1℃(1961−1990)	414.9 mm(1961−1990)
ダーバン	29°58′S	20.6℃(1961−1990)	999.4 mm(1961−1990)
札　幌	43°03′N	8.2℃(1961−1990)	1,129.6 mm(1961−1990)

(国立天文台編、1999)